

日 時	平成 28 年 8 月 31 日 (水) 午後 1 時 30 分～2 時 37 分
場 所	豊橋市役所 東館 4 階 41 会議室
出席者	別紙のとおり
欠席者	鈴木 衣江
傍聴者	なし

(進行：市民協働推進課長)

## 1. 開会

## 2. 文化市民部長あいさつ

## 3. 委嘱状の交付

- ・荒木仁子 ・安藤春樹 ・石井至穂 ・伊藤友之 ・木之下隆夫 ・住吉篤子 ・戸崎史子
- ・西山宗孝の順に交付 (名簿順)

各委員による自己紹介後、事務局職員による自己紹介

○議題に入る前にハーモニープラン P105「豊橋市男女共同参画推進条例」、P109「豊橋市男女共同参画審議会規則」を事務局から説明

## 4. 議題

(仮議長：市民協働推進課長)

### (1) 会長及び副会長の選出について

ハーモニープラン P109「豊橋市男女共同参画審議会会則」第 3 条を事務局から説明

○委員の互選による選出の結果、以下のように決定

会 長 荒木 仁子

副会長 木之下 隆夫

○審議会の運営について

**事務局**ハーモニープラン P109「男女共同参画審議会会則」第 4 条を説明

議事録の作成については、会議内容を録音したうえで作成しており、本日及び次回以降も同様の取り扱いとしていく。また、議事録については、会議の要旨を作成した後、2 名の委員に署名・押印をお願いすることになる。

**会 長**今回の会議の出席者は 8 名で会議は成立している。議事録の署名については、会長、副会長を除いた 50 音順名簿により、安藤委員と石井委員にお願いしたい。

### (2) 男女共同参画に関する市民意識調査について (報告)

事務局資料 2 に基づき事務局が説明

**事務局**平成 29 年度にハーモニープランの改定作業に入るにあたり、今年度プランのもとになる市民意識調査を行い、市民の意見や考えを調査している。市内在住の二十歳以上の男女合わせて 3,000 人を無作為抽出により選び、8 月 1 日から 31 日までの期間で調査をかけている。昨日 (8 月 30

日)現在の意識調査の返信数は、867件、回収率は28.9%となっている。前回の調査と大きく変わった箇所は「女性活躍推進法」を中心に、女性の働き方、再就職の考え方、働き続けるために思うことなど女性が働くことについての問を盛り込んでいる。その他にLGBTの認知度についてもアンケートに盛り込んでいる。

**委員**回収率が低い事務局はどう考えているのか。

**事務局**市民に対してもっと男女共同参画を推進していくことが必要だと感じる。

**委員**無作為抽出ということで、さまざまな家庭環境のもとへアンケートが送られていると考えるが、男女共同参画の意識の低さは引いては日本の未来にかかわってくると思うので、啓蒙していく必要があると感じる。回答率の低さは個人的にはさびしいと感じる。

**委員**前回の回収率と今回の回収率から考えるとまだ、まだ市民の意識が低いと感じる。

**委員**回収率が3割を超えることが良いわけではない。興味を持たせる内容にすることも一つではないかと考える。個別に訪問してアンケートを回収すると90%は超えるが個人情報の観点からなかなか個別訪問となると難しい。

**委員**アンケートの回収率は30%あれば返信されているほうではないかと考えるが今後どのような考えで男女共同参画を進めていくかが課題である。

**委員**アンケートの得られた結果をどのように活かしていくか、統計学的に有意差を鑑みながら集計する必要がある。各項目を統計的に集計する方法が可能ならやってもらいたい。そこから一つの結論を導き出していくという考察のやり方の方が論文という形にするのであれば、その方がいいが、お金もかかることになる。

**委員**アンケートの回収率は低かったものの、その中からどのような集計をやるかということについてはどのように考えているか。

**事務局**集計については、専門業者をお願いしているので、集計のやり方を投げかけることは可能です。そこから見えてくる課題などがわかるので、今後、集計を出してから報告させていただきます。

**委員**男女共同参画の意識は市民の中でまだ低いと感じます。意識調査のアンケートが突然送られてきて、ちゃんと答えることができるのか。意識調査のねらいがわからないと答えることは難しいのではないかと。調査をやる人とアンケートをもらった人のあいだでは、思いの違いがあると思われる、男女共同参画の文字さえ何のことと思うので、意識付けをしていくことが必要かと思う。

**委員**男女共同参画は何を意味するのか、中身の一つ一つが社会のなかで男女共同参画という観点できちっと市民が捉えているか、それが一つの評価となってくる。データから女性の活躍の意識があがってきているのは、今後の集計からわかってくるので、大いに興味がある。アンケートの内容はどこが前回と変わっているのか。

**事務局**アンケートの中から問11～問13まで、女性が働くことに関して、働き続けるための内容になっています。LGBTについての項目について新しく追加したところです。

**委員**今後の集計のやり方については、どのように行っていくのか。

**事務局**業者に依頼して詳しくデータの分析をしていく。分析の結果については、次回の審議会で報告します。審議会開催日については、事務局から連絡させていただきます。

**委員**他に今回のアンケート以外でも何かご質問などがありますか。

**委員**女性活躍推進法を取り入れたアンケートになっていると思うが、分析していくとどういったことが分かってくるのか。

**事務局** 今回のアンケートで、女性の働き方や一度離職した女性が再就職を考えたときに何を機基準に働くことを考えるか聞いています。分析結果をみて今後の取組みにどのように活かしていけるかを考える必要があります。

女性が働く（活躍）することは、男性にも役割意識をもってもらうことが必要で、何を基準に役割を考えるかが大事になってきます。

**委員** 女性活躍推進法がどれだけの市民に意識付けできるか、認識が低ければどういうことで認識を得ることができるか、その底上げをすることで女性活躍推進法についての認識を深めることができる。

**委員** 統計数字は業者からどのようにもらうのか。

**事務局** 生のエクセルデータが送られてくる。その結果を踏まえて今後の事業に結び付けたい。

**委員** 3,000人のなかからの30%の回答は市民を代表とするデータとして集まってきているのですか。

**委員** 今回の結果をどのように検証し、どのように計画に活かしていくか聞きたい。有意差が無いということがアンケートの内容がいけなかったのか、市民の意識がないのか。

**事務局** あるかないかではなく、どういうことをやっていくかが大事で男女共同参画条例があるなかで、施策を入れ込んでいかななくてはならない。それと併せて議論していかななくてはならない。

**委員** 時間も差し迫っております、今後とも貴重なご意見をお願いいたします。

平成28年10月20日

議事録署名者

安藤 春樹

石井 至穂

## 第2回豊橋市男女共同参画審議会 出席者名簿

No	氏名	選任区分	出欠
1	あらき ひとこ 荒木 仁子	豊橋商工会議所女性会元会長	○
2	あんどう はるき 安藤 春樹	公募	○
3	いしい しほ 石井 至穂	公募	○
4	いとう ともゆき 伊藤 友之	豊橋農業協同組合常務	○
5	きのした たかお 木之下 隆夫	愛知大学文学部教授	○
6	すずき きぬえ 鈴木 衣江	豊橋女性団体連絡会元副会長	×
7	すみよし あつこ 住吉 篤子	豊橋人権擁護委員	○
8	とさき ふみこ 戸崎 史子	公募	○
9	にしやま むねゆき 西山 宗幸	豊橋市小中学校 PTA 連絡協議会元会計	○

審議会出席人数 8 名

### <事務局>

市民協働推進課 課 長 河合 幸子  
主 幹 小久保 雅司  
課長補佐 夏目 直美  
事 務 員 今井 萌子